

Title	表紙
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院法務研究科
Publication year	2022
Jtitle	慶應法学 (Keio law journal). No.47 (2022. 1)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA1203413X-20220117--001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA1203413X-20220117--001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 慶應法学

## 論 説

2020年個人情報保護法改正の検討課題……………菅 原 貴与志

応用美術の著作物性に関する欧州連合司法裁判所Cofemel判決……………小 泉 直 樹

イギリス契約法における信義誠実義務……………島 田 真 琴

独占禁止法上の競争の実質的制限に関する覚書……………江 口 公 典

保険領域における遺伝情報の保護および利用について  
……………山本龍彦・石本晃一・鈴木 麗・杉本康裕

訴訟上の和解の効力と承継人への拡張 (3・完)……………岡 伸 浩

性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律における生殖不能要件及び外観具備  
要件の合憲性に関し心理学的側面からの検討を含めた考察……………城 祐一郎・小林 如乃

スペインにおける消費者メディエーションおよび仲裁手続 (1)……………工 藤 敏 隆

正当防衛論と最高裁平成29年4月26日決定……………鈴 木 左斗志

## リサーチペーパー

国際司法裁判所における「証拠提出義務」に関する一考察……………清 水 翔